

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月12日

上場会社名 株式会社 コンテック

上場取引所 東

 コード番号 6639 URL <http://www.contec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 漆崎 榮二郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 和田 康

TEL 06-6472-7130

四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

配当支払開始予定日

平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,630	—	△125	—	△140	—	△135	—
20年3月期第2四半期	10,633	△4.9	333	△48.1	335	△46.9	277	△26.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△41.12	—
20年3月期第2四半期	84.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第2四半期	14,733	—	6,550	—	44.5	1,985.02
20年3月期	15,768	—	6,793	—	43.1	2,058.61

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 6,550百万円 20年3月期 6,793百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
20年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	
21年3月期	—	22.00	—	—	—	
21年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00	

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	△20.3	△70	—	△90	—	△90	—	△27.27

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 3,300,000株 20年3月期 3,300,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 3,300,000株 20年3月期第2四半期 3,300,000株

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰に加えて米国金融不安に端を発した世界経済への下押し懸念を受け、設備投資の減速が顕著となり、先行きの不透明感が一段と強まっております。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画に基づき、営業・技術（開発）・生産・サービスの全てにおいて「構造改革」に取り組んでおりますが、半導体・検査装置関連業界などにおける設備投資減少の影響により、売上高が大きく減少いたしました。

当社グループの営業状況は、売上高8,630百万円（前年同期比18.8%減）、営業損失は125百万円、経常損失は140百万円、四半期純損失は135百万円となりました。

事業部門別の概況は次のとおりであります。

(1) デバイス&コンポーネント事業部門

当事業部門は、拡張ボード系機器、産業用パソコン系機器及びネットワーク系機器を製造販売しております。さらに、本年度よりこれらの製品を組み合わせた、システム機器ビジネスの事業化を開始いたしました。また、産業用パソコン系機器では、クラス最薄レベルの「ボックスコンピュータ」や、生産ラインの監視と制御を行う米国Wonderware社製ソフトウェア（InTouch Compact）を組み込んだパネルコンピュータなど特徴ある製品を市場に投入いたしました。流通ルート販売の減少や半導体・検査装置関連業界などでの設備投資減少の影響により、売上高は3,849百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

(2) ソリューション&サービス事業部門

当事業部門は、各種の制御システム、計測制御システム及び遠隔監視システム等を製造販売しております。原材料価格の高騰や原油高による自動車販売台数の減少を受け、主に自動車業界向けシステムの売上が減少となり、売上高は618百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

(3) EMS（Electronic Manufacturing Service）事業部門

当事業部門は、主に株式会社ダイフク向けの制御盤、制御モジュール及びワイヤハーネス等の製造販売を行っております。株式会社ダイフクの物流システム部門からの受注が前期より減少したため、売上高は4,162百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

※前年同四半期増減率は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は14,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,035百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少833百万円、売上債権の減少541百万円、棚卸資産の増加313百万円であります。

負債の残高は8,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ792百万円減少いたしました。これは主に仕入債務の減少268百万円、未払法人税等の減少214百万円であります。

純資産の残高は6,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失、配当金の支払等による利益剰余金の減少が237百万円、為替換算調整勘定の減少が12百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,019百万円となり、前連結会計年度末に比べ833百万円減少いたしました。主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは651百万円の支出超過となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失が177百万円、売上債権減少による538百万円の収入、棚卸資産増加による319百万円の支出、仕入債務減少による269百万円の支出、法人税等の支払による220百万円の支出であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは222百万円の支出超過となりました。主な内訳は、有形固定資産取得による272百万円の支出、有形固定資産売却による141百万円の収入、無形固定資産取得による98百万円の支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは44百万円の収入超過となりました。主な内訳は、短期借入による117百万円の収入、配当金の支払いによる72百万円の支出であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しをおこなった結果、平成20年5月15日に公表しました平成21年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下の明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

固定的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に生じた経営環境の変化に伴う業績の悪化により税務上の欠損金の発生が見込まれるため、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において、前連結会計年度末の検討において使用した業績予測やタックス・プランニングに当該変化による影響を加味したものを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による損益への影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この結果、期首の利益剰余金が28,986千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失が11,733千円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が、それぞれ8,126千円減少しております。

- ④ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引続き採用しております。

この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,019,867	2,853,385
受取手形及び売掛金	3,837,506	4,379,084
商品及び製品	1,887,048	2,039,618
仕掛品	1,086,728	742,079
原材料及び貯蔵品	1,321,506	1,199,750
繰延税金資産	281,167	226,743
その他	182,824	130,195
貸倒引当金	△49,884	△52,649
流動資産合計	10,566,765	11,518,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,244,889	1,227,900
機械装置及び運搬具（純額）	99,366	112,428
工具、器具及び備品（純額）	78,501	87,206
土地	1,389,919	1,481,714
その他（純額）	35	47
有形固定資産合計	2,812,712	2,909,296
無形固定資産		
のれん	147,887	175,616
ソフトウェア	191,278	213,377
その他	176,688	225,372
無形固定資産合計	515,854	614,366
投資その他の資産		
投資有価証券	264,458	267,508
繰延税金資産	87,023	94,250
その他	500,665	380,338
貸倒引当金	△14,339	△15,339
投資その他の資産合計	837,807	726,758
固定資産合計	4,166,375	4,250,421
資産合計	14,733,141	15,768,628

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,614,490	3,882,596
短期借入金	1,534,569	1,415,588
1年内返済予定の長期借入金	—	800,000
未払法人税等	5,112	219,581
その他	600,522	967,833
流動負債合計	5,754,694	7,285,599
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,200,000
退職給付引当金	302,496	266,742
その他	125,395	222,872
固定負債合計	2,427,891	1,689,615
負債合計	8,182,586	8,975,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,600	1,119,600
資本剰余金	669,600	669,600
利益剰余金	4,692,446	4,929,725
株主資本合計	6,481,646	6,718,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,292	21,244
繰延ヘッジ損益	2,706	△3,970
為替換算調整勘定	44,910	57,214
評価・換算差額等合計	68,908	74,488
純資産合計	6,550,555	6,793,414
負債純資産合計	14,733,141	15,768,628

(2)【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	8,630,745
売上原価	6,848,493
売上総利益	1,782,251
販売費及び一般管理費	
販売費	901,864
一般管理費	1,006,150
販売費及び一般管理費合計	1,908,015
営業損失(△)	△125,763
営業外収益	
受取利息	6,221
受取配当金	3,137
受取賃貸料	12,564
その他	12,075
営業外収益合計	33,999
営業外費用	
支払利息	36,806
為替差損	10,392
その他	1,758
営業外費用合計	48,957
経常損失(△)	△140,720
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,840
特別利益合計	1,840
特別損失	
固定資産売却損	35,639
固定資産除却損	219
投資有価証券評価損	3,131
特別損失合計	38,991
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,871
法人税、住民税及び事業税	9,692
法人税等調整額	△51,870
法人税等合計	△42,177
四半期純損失(△)	△135,693

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,871
減価償却費	118,361
のれん償却額	26,860
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,248
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,479
受取利息及び受取配当金	△9,359
支払利息	36,806
為替差損益(△は益)	1,484
投資有価証券評価損益(△は益)	3,131
有形固定資産除却損	219
有形固定資産売却損益(△は益)	35,639
売上債権の増減額(△は増加)	538,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△319,985
仕入債務の増減額(△は減少)	△269,173
その他	△373,838
小計	△405,327
利息及び配当金の受取額	8,587
利息の支払額	△34,403
法人税等の支払額	△220,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	△651,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△272,447
有形固定資産の売却による収入	141,221
無形固定資産の取得による支出	△98,477
その他	7,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	117,005
長期借入れによる収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△800,000
配当金の支払額	△72,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,885
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△833,518
現金及び現金同等物の期首残高	2,853,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,019,867

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、コンピュータ及びその関連機器の開発、製造、加工、販売を行う単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	8,313,869	54,715	262,160	8,630,745	—	8,630,745
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	164,357	6,316	800,141	970,816	(970,816)	—
計	8,478,226	61,032	1,062,302	9,601,561	(970,816)	8,630,745
営業損失(△)	△ 76,974	△ 10,208	△ 34,847	△ 122,030	(3,733)	△ 125,763

(注)1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………中国、台湾

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
	金 額
I 売上高	10,633,068
II 売上原価	8,332,321
売上総利益	2,300,747
III 販売費及び一般管理費	1,967,737
営業利益	333,009
IV 営業外収益	
1 受取利息	6,584
2 受取配当金	4,640
3 為替差益	331
4 その他	35,507
営業外収益合計	47,063
V 営業外費用	
1 支払利息	31,087
2 その他	13,719
営業外費用合計	44,806
経常利益	335,266
VI 特別利益	
1 投資有価証券売却益	231,062
2 貸倒引当金戻入益	1,178
特別利益合計	232,240
VII 特別損失	
1 固定資産除却損	571
2 過年度原価差額修正損	56,180
特別損失合計	56,751
税金等調整前四半期純利益	510,755
法人税、住民税及び事業税	149,706
法人税等調整額	83,128
四半期純利益	277,920

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	510,755
2 減価償却費	132,614
3 のれん償却額	28,835
4 貸倒引当金の増加額	41,829
5 退職給付引当金の増加額又は減少額(△)	△32,700
6 有形固定資産除却損	571
7 受取利息及び受取配当金	△11,224
8 支払利息	31,087
9 為替差益	△1,707
10 投資有価証券売却益	△231,062
11 売上債権の増加額(△)又は減少額	1,010,771
12 棚卸資産の増加額(△)又は減少額	△215,277
13 仕入債務の増加額又は減少額(△)	△1,341,188
14 その他	△186,131
小計	△262,828
15 利息及び配当金の受取額	10,872
16 利息の支払額	△32,658
17 法人税等の支払額	△176,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△460,764
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△20,384
2 無形固定資産の取得による支出	△79,529
3 投資有価証券の取得による支出	△101,143
4 その他	18,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,720
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	29,716
2 配当金の支払額	△89,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,384
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	10,861
V 現金及び現金同等物の減少額	△692,007
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,283,053
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,591,045